

丸勝物産 株式会社

1000点の業務用家具、
短納期生産体制を確立

納期
相談
企画
力有
自信
有
コスト
相談
量産
対応



1000点に及ぶ和風家具を品ぞろえする

業務
内容
海外に独自の
仕入れルート開拓

丸勝物産は、飲食店や商業施設などで使ういすやテーブルなどの業務用家具を企画、開発し、国内外の協力会社に委託して製造している。昭和24年に大阪市内の日本橋で家具小売りとして創業。外食産業の成長とともに、メーカーへと発展してきた。協力工場の80%はタイ、ベトナム、台湾などの海外にある。増田一郎社長が、商社を通さず、自らの足で探した委託先で、「他社とは違う独自の仕入れルートになっている」。海外で生産した半完成品を国内で最終製品に組み上げる生産方式で、1000点に及ぶオリジナル商品を持つ。

強み
和風家具に特化、
他社に負けない品ぞろえ

業務用家具の中でも飲食店、宿泊施設、寺院などで使われる和風の家具に特化するという市場戦略を取っている。増田社長は「できるだけ狭い市場を狙っている代わりに、この市場ではよそに負けない品ぞろえがある」と胸を張る。普段から、「できるだけ入ったことのない店で食事をするのが習慣になっている」といい、自社製品は現場で得たヒントを元にして自ら企画、開発する。畳が傷まない和室用のいすや、畳にもフロアにも置けるついたて、レザー調の座布団など、既存の和風家具になかった新しい発想を次々と製品に取り入れてきた。

生産
体制
半完成品在庫の
管理にノウハウ

生産面でも他社が真似できない体制を作り上げている。例えば、いすは海外生産した脚部の半完成品を国内に在庫しておき、顧客の注文に応じて背もたれの形状、座面生地、脚の長さなどを仕上げて納品する。部品の共通化が可能となるほか、生産効率も高まり、受注生産を中心とする他社より早く納品することができ、顧客のインテリア商社にとっても在庫があれば営業がしやすい。増田社長は「在庫管理はいつ、どのくらいのものが必要なのかを予測する必要があり、経営上のリスクでもあるが、そのノウハウが利益の源泉でもある」と言い切る。



受注後に脚部や座面を仕上げる

今後の
展望

市場変化の追い風に乘る

最近の外食産業では、個性のある店作りと素早い出店が好まれる傾向が強くなってきた。同じデザインの家具を大量に発注するよりも、店ごとに違うデザインの家具を素早くそろえたい需要が高まっている。7-10日の短納期、手ごろな価格帯、製品数の多さなどを強みとする同社にとってこの傾向は追い風である。また、外国人観光客が増加し、「和食」への注目度が上がっていることも背中を押す。変化する市場ニーズを敏感にとらえるのは増田社長の得意とするところ。「ニーズに合わせて、当社にしかないものづくりを続ける」と力を込める。

COMPANY PROFILE

丸勝物産株式会社

大阪
27当社の
歴史

昭和24年に大阪市の日本橋で家具の小売業として創業したのが当社の始まりです。国内で外食産業が成長するのに伴って、卸売業からメーカーへと発展してきました。飲食店、商業施設、宿泊施設、寺院などで使われる和風のいすやテーブルに特化して約1000点の自社製品をそろえています。

1000点に及ぶ和風の業務用家具を7-10日で納品できる、独自の生産体制を構築しています。

代表取締役 増田 一郎さん

■主な事業内容
業務用家具の製造・販売

■主な取引先（納入先）

飲食チェーン、飲食店、商業施設、宿泊施設、寺院など

住所／〒581-0038
八尾市若林町
2-38

TEL／072-948-2381
FAX／072-948-2399
創業／昭和24年8月
設立／昭和24年8月
資本金／4,800万円
従業員／12名

<http://www.marukatsu-b.co.jp>